

地域の福祉力アップへ「新しい自治の在り方」の鍵は「愛」

少子高齢化や人口減など、地域の暮らしを守っていくためのハードルは年々高くなっています。今こそ私たちは、地域の課題をジブンゴトとして捉え、共に助け合う「地域の福祉力」のための「新しい自治の在り方」を模索していかなければなりません。

現実の「課題は山積」していますが、支え・支えられる立場を超えたつながりの中には、自分の住む「まち」や「人」を大切に思う「愛」があります。それが地域を支え合う「やりがい」に直結していくことが必須です。

寄居町議会は町民とともに歩む議会。今後も互いの思いを共有し議論を重ね、形にとらわれない「支え合いの仕組み」を構築していきます。



課題
5

活動の理解者を増やす

活動しながら、福祉の知識が身についてくる。多くの人が任につき、地域に社会福祉の担い手が増えることを期待したい。

よしだ ゆたか
吉田 豊さん（男衆）

地域に福祉の担い手が増えることを期待

課題
4

高齢者見守り

詐欺等から守る見守り、介護等の相談もあって、高齢者にいつも気を配っています。

てらしま えみ
寺島恵美子さん（男衆）

課題
3

民生委員の役割を明確に

困り事の解決の道筋をつけて、早期に行政につなげることが大事ですね。

むらたひろこ
村田弘子さん（西部）

切るも自由・切らぬも自由 どちらでも読めます

本書の読み方は11ページをチェック！

「こんにちは！」「体調は大丈夫？」
どのお宅でもスムーズに訪問ができるのは
民生委員さんのおかげです。



頼りにしています！
民生委員さん

高齢者のお宅を中心に、寄居町の民生委員さんと一緒に訪問活動を行っています。1日に回る件数は15件ほど。日頃から信頼関係がある民生委員さんと一緒だと、一気に距離が縮まり、会話が弾みます。振り込め詐欺や強盗対策など、「防犯意識」を直接伝える役割を担ってくださっていますね。

寄居警察署 生活安全課
いけだ みか
係長 池田美香さん

「お互い様」の
気持ちが大事



わたしの
やりがい

「防犯の見守り」

高齢者宅の訪問時に配布用の「防犯パンフレット」を調達するために寄居警察を訪れたことがきっかけとなり、警察との訪問活動が始まりました。警察の方と訪問すると、相手方の安心感が違います。信頼関係を築くのは大変ですが、まずは心をもって接すれば、相手も心で返してくれる、「お互い様」の気持ちが大事。都内から移住して27年、今では自分の故郷となったこの町と地域のために、自分のできること、尽くしていきたいです。

あいづてつろう
會津哲郎さん（鉢形）



令和6年10月から始まった移動販売。
1週間に1回、80代90代の人でも買
い物に。私も毎回参加し、地域
の皆さんの様子をうかがう良い
機会となっています。



「うえたん局」
による移動販
売が始まりま
した！
（町HP）

トレードマークの
緑のジャンパーで
「安心」を

わたしの
やりがい

「地域の見守り」

民生委員の「活動の可視化（見える化）」が大切だと思います。地域の民生委員が誰だか分からないとの声があり、それからは皆さんに分かりやすいように、常に緑の防犯ジャンパーを着て活動しています。そうすると、別の機会であう子どもたちにも「民生委員の新井さんだ！」と認識してもらえます。このジャンパーを着て活動することが、地域の安心につながったら良いと思っています。

あらいたかすみ
新井高澄さん（西部）

